

☆第4回策定委員会でみなさまから頂戴した質問・意見を下記のとおりまとめました。

【質問】

○資料4について、通学に関する評価が③の候補地が△で、②の候補地が○なのはなぜか？③について現在も何か通学に関する意見が出ているのか？

→③について、現状国見小学校では集団登校での徒歩通学と遠方の場合スクールバスでの通学ですが、現在のところ通学に関する意見は出ていません。今後学園となった場合を考えると、保～中までとなり、保護者の送迎やスクールバスの台数等これまで以上に交通量の増加が見込まれることと、自転車通学も見込んだ場合の安全性を考慮し、評価が△となっています。また、②については、現在行われている国道4号の拡幅工事完了後は、柏葉体育館入り口の道路が交差点となり信号機が設置される予定のため、評価は○としています。

○音楽の授業や運動会等学校のイベント時に近隣住民からうるさい等苦情はあるか？

→現在のところ、苦情はありません。また、学校のイベント開催時には役場や体育館裏、学童の駐車場を使用する等近隣住民への妨げとならないよう配慮し、開催しています。

○建設候補地はいつ頃決定するのか？また、園舎・校舎は何階建になるのか

→具体的には決まっていますが、建設候補地はなるべく早い段階で決定したいと思っています。また、園舎・校舎についても具体的な案はございませんが、なるべく低層でと考えています。ただ、移動が大変だという子どもの声もありますので、慎重に検討していきたいと思います。

□仙台二華中・高は高層建だが、クリスマスツリーを飾ったり、吹き抜けをとおして上下の関係が持てるなど、高層だからできることも一方ではある。

【意見】

□前回の意見のまとめについて、職場体験はやってほしいということではなく、職場体験等の教育活動を考えた施設づくりが大切な視点であるということを確認したい。

□資料2 (P.1) 7-1について、具体性が見えない。

目指す子どもの姿を実現するために、どんな活動を行っていくのか掘り下げてほしい。

わんぱく＝やんちゃなイメージだが、どのようなことを示しているのか知りたい。

「地域に還元できる」とあるが、具体性が分からないので、求めるなら例示した方がよい。

今は夢を持つ子が少ない、自分で考えられないと感じる。

資料2 (P.1) 7-1に「提供し・・・」という表現があるが、それは本当に子どもにとって良いことなのか？提供されないとやれない、やらないにつながるのか？子どもの自主性を伸ばすことが重要。

子どもにばかり求めるのではなく、大人もどういう姿勢がつかれるか。大人が求めるのではなく、子どもに寄り添う姿勢が必要。

子どもの願いと大人が願うもののギャップをどうするか？本当の願いを見抜くことが大切。

夢を持つために、小さい頃から色々な経験ができると良いか。

自分の気持ちを言葉にできない子もおり、大人のサポートが重要である。

子どもたちから出た意見は、大人とは違う目線であると感じる。エレベーターの設置理由を見ると、低学年の子のためという思いやりを感じる。

水筒持参は低学年だと大変。ランドセルの上に体操着袋を背負い、更に水筒となると歩くものやっとなのである。

子どもたち自身が異学年の交流を望んでおり、大人と同じ意見でよかった。

持続可能な教育内容にするためには、人的にも物的にも長いスパンで継続できることが重要となるため、やれるやれないの選択をきちんと行い、また、学校と地域の相互作用をもっと柔軟にしなければならない。

カリキュラムについては、現在 CS 委員会で承認の形となっているが、今後は意見交換の場になればよいと感じる。

判断力について、今の子どもたちはタブレットで出てきたものが答えになっており、それが本当かどうかについては全く疑わない。

国見学のテーマ設定を現在学校が行っているが、今後は子どもたち自身がテーマ設定できるようになれば良い。

これまでのワークショップでたくさんの意見が出てきた中で、今後は取捨選択によって構想の方向性が決まっていく。学校と社会の変化を比較するとどうしても社会の変化の方が大きくなるため、学校の変わらないものを変えるチャンスである。(勇気をもって)

大人に子どもの頃の夢が叶えられたか問うと、NOの割合が多い。子どもの夢を実現するためには、どれだけの大人が応援できるかが重要である。

通園・通学方法は生活運動量に直結するため、非常に大切である。

先生方が勤めやすい場所・環境であることも大切な視点。